

どのギターも劇的なトーンや音量の変化は認められなかったが、ギターオーナーであればその違いはハッキリと確認できる。ギターの持つ基本的なトーン・キャラクターをキープしながらも、一部の周波数帯が強調された印象がある。しかし、その音域は一律ではなくバラツキが見られることも事実で、試奏した3本はややブライต์になる傾向が見られたが、開発者の片山氏によると中音域から低音域が強調されるギターも少なくないとのことだ。

また、ユニットを取り付けたギターに共通する傾向も見られた。まずサステインがやや長くなる、そしてアタック感が弱まりまとまりの良いサウンドに感じられた。アコースティック・ギターの場合、撥弦すると最初に高周波成分の多いアタックの強い音が出る。さらに強く弾いていくと、ある段階から音量は上がらないが、“ガツ”という耳障りな衝撃音に近い音に変化する。これは弦振動エネルギーが大きいことで、最初のアタック部分が入力オーバーになっている状態と考えられる(弦がフレットにぶつかる音も含まれる)。K.A.C.を取り付けることで、最初のアタック部分のエネルギーが多少吸収され、それがサステインを長くする効果として表れているのではないだろうか。また、ユニットの重量はわずかに15g程度だがブリッジ部分がやや重く丈夫になることで、サウンドボード、ブリッジ、ブリッジプレートの振動時間は長くなる。しかし、これらは各モデルの傾向と言うより、各ギターとユニットとのマッチングと考

えた方が良さだろう。ブリッジ・プレート部分の状態などもあり、同じモデルに取り付けた場合でも異なる結果が出ることも充分考えられるので、その点はご理解頂きたい。

### ■試奏を終えて

エフェクターやアンプで音を変えることができないアコースティック・ギターにとって、K.A.C.はある意味で画期的なアタッチメントである。このユニットの登場により、アコースティック・ギターにも新たなアプローチの可能性が広がったことは確かだ。“マイ・ギターのトーンの可能性を追求したい”また“サステインを長くしたい”“音量の強弱をある程度コントロールしたい”というギタリストには、極めて魅力的な製品といえる。どちらかと言うと、ピックを使った強いコード・ストロークよりも、フィンガーピッキング・スタイルの演奏に向いているような印象を受けた。

K.A.C.は多くのアコースティック・ギターに装着できるが、一部のエレクトリック・アコースティックやナイロン弦モデル、テイルピース仕様のモデル、特殊な弦間ピッチや特殊な構造のブリッジプレートのモデルなどには使用できない。製品に興味のある人は、その点を良く確認してから購入することをお薦めする。また、取り付ける際にはブリッジプレート部分のバリや接着剤のはみ出しなどがないことを良く確認し、バリなどが出ている場合は紙ヤスリなどでバリをきれいに処理し、ブリッジプレートの面がフラットであることを確認することが必須である。



最初からK.A.C.をセットしているカタヤマ・ギターも多数発売されている(価格:45,000円~505,000円/税別)。写真はオール单板仕様のローズウッド・モデルKD-2330 価格:220,000円/税別。



## INTERVIEW

# 片山 一郎

MZQ Inc.代表取締役

## ダブルデッキ・ギターという発想

ダブル・デッキ・ギターの(共鳴構造が2つあるギター)な発想の製品ができないかと…。

### ●どのようなトーンをイメージされました？

○具体的にはありません。でも、内部の構造を変えることで新たなトーンが作れると考えました。K.A.C.は、取り付ければどんなギターも理想の音に変換される魔法の箱ではなく、そのギターの備えるディステーションを変えるアタッチメントです。K.A.C.を取り付けた音が気に入ってもらえれば良いかと…。チェンバー構造なのでルームリバプ的な現象が起こり、ハーモニクスが豊かになることで幅広い音域に影響を与えます。ボディの中で鳴っていた音が“ボン”と外に出てくるようなイメージを持たれた方が多いです。

### ●どのようにしてあの構造に？

○ブリッジ・プレート部分は弦振動エネルギーが最も大きいので、取り付けるならそこが良からうと。接着剤を使わないで簡単に脱着できるように弦のボールエンドを利用して

ます。木製チェンバーがサウンドボード全体の振動を変え、チェンバー内のハーモニクスも全体のトーンに影響します。

### ●確かにサステインが延びているようです。同時にアタックがやや弱くなったようにも…。

○その傾向はあると思います。アコースティックの場合かなりアタックが強いので、音にならない衝撃といいますが、その部分が多少解消されてその分サステインが持続します。

### ●肌触りの良いサウンドに感じました。

○位相が多少整理されるような整流効果があるようです。フィンガーピッカーには向いているサウンドだと思います。

### ●ローズウッド材を使用した理由は？

○素材はメイプルやエボニーなどいくつか試して、最も効果的だったのがローズウッドでした。硬さと密度の関係だと思っています。個人的にはコア材も好きです。

### ●K.A.C.を取り付けることで、ブリッジ周りはかなり丈夫になりますね。

○ローズウッド製なのでかなり補強していることとなります。ギターはブリッジプレートを局所的に引っ張るので、どうしても歪んできます。K.A.C.を付けることで弦のテンションは分散され、変形防止効果も期待できます。面でテンションを支えることで、弦のエネルギーを効率よく音に変換できるわけです。

### ●ギターによって効果は異なりますか？

○凄く効果的なギターがあれば、効果が薄いギターもあります。弦のテンションが和らいだ印象になったといわれる方も多そうですね。